

アンケート調査のご協力をお願い

前略

秋冷の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、日本数学会では、文部科学省が公募を行った委託事業「数学・数理科学と他分野の連携・協力の推進に関する調査・検討～第4期科学技術基本計画の検討に向けて～」(受託者九州大学大学院数理学研究院、代表 若山正人)の連携協力機関の一つとして、本委託事業の調査協力を行うことになりました。(委託業務の目的と概要については下記にある資料抜粋をご参照ください)。

日本数学会は、他分野との連携と協力がオールジャパン体制で推進されることにより、我が国における数学・数理科学の発展に寄与できると考え、本事業に協力することにいたしました。日本数学会では、この委託調査の項目「他分野と産業界との連携・協力について」と関連して「数学・数理科学における人材育成について」のアンケート調査を行うことにいたしました。

つきましては、数学会会員および数学・数理科学の研究機関の方々に下記のアンケート調査にご協力いただければ幸いです。このアンケートの結果については、委託業務の報告の範囲でのみ使用します。この報告は、今後の日本数学会の活動に生かします。

引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

草々

日本数学会 理事長 坪井 俊

記

1. アンケートの内容

「数学・数理科学教育研究活動について」 I

「他分野と産業界との連携・協力について」 II-V

「数学・数理科学における人材育成」 VI

2. 回答期限 平成21年11月20日(金)までにご発送ください

3. 回答先 アンケートは以下へ郵送いただきたく宜しくお願いいたします

〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学大学院数理学研究院

以上

なお、このアンケートについての問合せは、以下のE-mailアドレスにお願いいたします。

enquete@faculty.ms.u-tokyo.ac.jp

【参考資料 公募要領から】

第4期科学技術基本計画の検討に向けて、我が国においてこれまで行われてきた数学・数理科学に関する活動について調査・評価するとともに、数学・数理科学と他分野との連携・協力に関するニーズ及びシーズを、数学・数理科学と他分野の両方の視点から調査等を行うことにより、数学・数理科学と他分野の連携・協力の推進に向けた具体策を検討し、今後の数学・数理科学のさらなる発展、ひいては、新たな価値の創造とイノベーションの進展に資することを目的とする。

併せて、本委託業務の実施にあたり、様々な立場の者が協働して調査・検討を行うことにより、数学・数理科学に係る者はもちろん、その他の立場の者とのコミュニケーションを図ることや情報交換の場を形成する。

以下の項目に対し調査、検討・評価を行い、数学・数理科学と他分野の連携推進に向けた具体策の提言を目的とする。

- ① これまでに行われてきた数学・数理科学に関する活動の調査
 - (ア) 過去20年程度の研究・教育活動などについて
 - (イ) 数学・数理科学に関する研究資金制度の運営方法などについて
 - (ウ) 先行事例として採り上げるべき研究活動や教育活動について
- ② 数学・数理科学的知識および数学者との連携・協力に関する需要調査
- ③ 数学・数理科学と他分野間の関係調査
- ④ ①～③の調査などを踏まえ、数学・数理科学の今後の発展、ひいては科学技術全体の発展に資することを目的とした、数学・数理科学と他分野の連携・協力を推進するための具体策を提示する。

【参考資料 業務計画書から】

社団法人日本数学会は、国立大学法人九州大学が中心となって行う委託業務「数学・数理科学と他分野の連携・協力の推進に関する調査・検討～第4期科学技術基本計画の検討に向けて～」を共同で実施し、国立大学法人東京大学、新日本製鐵株式会社との協力の下、委託業務全体の目的が達成されるように努める。

【参考資料 アンケート調査概要案から】

公募要領の調査事項①(ア)として、特に、1)組織の変遷と新しい理念に基づく組織編成(名称にも着目):a)教養部改組による組織の変更、b)独立研究科の創立、c)理学部数学系の学科名の改編(数学科⇒数理科学科、情報数理学科など)等について調査・分析を行う。調査事項①(ウ)として、特に、GCOE、21COE、大学院GP等に関する基本調査、インターンシップ等についての基本調査を組み込む。また、関連事項として、「数学・数理科学分野の人材育成」の現状および将来への見通しについて調査・分析を行う。

以上

アンケート調査

このアンケート調査は、主として数学・数理科学系の教育と研究を行っている大学院教育研究組織（独立研究科、専攻等）を対象にしております。以下の質問にご回答ください。

教育研究組織のお名前； 大学名： _____ 大学

研究科、専攻名等： _____

ご記入いただいた方のお名前と役職： _____ (役職； _____)

ご連絡先（電話番号）： _____

(email)： _____

(アンケートの結果によりヒアリング等にお伺いさせていただくことがございます)

以下の質問について、選択質問については適当なものに○をお付けください。その他の質問については適宜、数字および文章にてご記入ください。

I. 数学・数理科学教育研究活動について

(質問1) 平成21年10月1日現在での貴教育研究組織（以下組織と呼ばさせていただきます）の人材についての情報をお教えてください（大学院学生は含めません）。

	純粋数学系	応用数学系	純粋数学系と応用数学系の間	他分野	計
専任教員	人	人	人	人	人
ポスドク等	人	人	人	人	人
その他（客員教員等）	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人

(質問2) 平成21年10月1日現在での貴組織での大学からの校費の変化の概算はどのようでしょうか(年間校費全体を所属人数で割ったお1人あたりの予算を分かる範囲でお教えてください)。

(ほぼ10年前) 約 _____ 万円 (現在) 約 _____ 万円 (一人/年間)

(質問3) 今年度の外部研究資金についてご記入ください。

	科研費 C	科研費 B	科研費 S,A	萌芽研究	その他の科研費
基盤研究	件	件	件	件	件
若手研究	件	件	件		

科学研究費以外の公的資金	産学連携による資金	その他
件	件	件

(質問 4) 教養部改組、独立研究科創立、学科名の改変等組織の大きな変遷は行われましたか。

1. はい 2. いいえ

(質問 4)で 1 と回答された方は以下の質問にお答えください。

(質問 4-1) 大きな組織変遷の主なものをお教えください。(複数組織による変遷については複数お書きください)

(1) 変遷年 (西暦) _____ (前) _____ から _____ へ

(2) 変遷年 (西暦) _____ (前) _____ から _____ へ

(質問 4-2) 新しい組織編成において、教育研究内容の大きな留意点はどのようなものでしょうか。

(質問 4-3) 組織編成時(あるいはその後)、教員選考等で留意した点があればお教えください。

(質問 4-4) その他、新しい組織編成の方針で特記することがあればお教えください。

(質問 5) 数学・数理科学以外の分野の大学院生が、貴組織で開講している講義やセミナーに参加している事例 (大学院生の分野、人数と講義やセミナーの内容) をお教えください。

(質問 6) この 10 年の間で科研費以外の競争的資金 (21 世紀 COE, GCOE, 大学院 GP, ITP, CREST, 文科省振興調整費ほか) による教育研究活動がありますか。

1. はい 2. いいえ

(質問 6)で 1 と回答された方について、以下の質問にお答えください。

(質問 6-1) 21 世紀 COE, GCOE, 大学院 GP, CREST, さきがけのプログラムについてお教えください。

	プログラム名	課題名	資金総額	年度(期間)	代表者の専門分野
1			万円		
2			万円		
3			万円		
4			万円		

(推進中のものについては、最終年度までの予定資金総額をご記入ください)

(質問 8) 他分野との連携・協力を行う研究に対して、学術論文以外の業績等について研究活動実績として評価することは可能だとお考えですか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない

(質問 8)で1と回答された方は以下の質問にお答えください。

(質問 8-1) 学術論文以外の業績等で実際に研究活動実績として評価することが可能と思われる具体例(例えば特許、特別講演等)についてお教えてください。

(1) _____ (2) _____

(3) _____ (4) _____

(質問 9) 他分野との連携・協力による研究活動に、大学院学生を参加させることについてどうお考えでしょうか。

1. 参加させたい 2. 参加には消極的である 3. どちらとも言えない

(質問 10) 今後どのような他分野との連携・協力を進めていくのがよいと思いますか。研究分野を挙げてください。

(1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

(質問 11) 他分野との連携・協力を進めるのに効果的だと思われる仕組みや支援についてのご意見をお教えてください。

--

III. 他分野や産業界との連携・協力による人材育成の取り組みについて

(質問 12) 大学院学生に対してインターンシップを行っていますか(計画中也含めて)。

1. はい 2. いいえ

(質問 12)で1と回答をされた方は以下の質問にお答えください。

(質問 12-1) 主なインターンシップの派遣先(分野、業種)をお教えてください。

(1) _____ (2) _____

(3) _____ (4) _____

(質問 12-2) 過去3年間のインターンシップ派遣状況をお教えてください(概数で結構です)。

	修士(1月未満)	修士(1月以上)	博士(1月未満)	博士(1月以上)
件数				

VI. 大学院における人材育成と進路状況について

以下の質問に、修士課程と博士課程にわけてお答えください。

VI-I. 修士課程について

(質問 20) 修士課程学生の育成の主な方針はどのようなものでしょうか。

区分：①数学研究能力の育成、②社会で活躍するための数学応用力の育成、③数学教授能力の育成、
のうちで重点とお考えの順に並べてください。

1 位 _____ 2 位 _____ 3 位 _____

(その他の方針： _____)

(質問 21) 修士課程学生の進路は主にどのようなものでしょうか。

区分：①数学・数理科学系博士課程進学、②他分野の博士課程進学、③中高教員、④企業、⑤公務員
のうちで進路の多い学生数の順に並べてください。

1 位 _____ 2 位 _____ 3 位 _____ 4 位 _____ 5 位 _____

(その他の進路： _____)

(質問 22) 修士課程学生の企業への就職ではどのような業種でしょうか。

区分：①製造業、②保険・金融、③情報産業、④サービス業
のうちで就職者数の多い順にお書きください。

1 位 _____ 2 位 _____ 3 位 _____ 4 位 _____

(その他の業種： _____)

(質問 23) 過去 5 年程度での修士課程の学生の進路希望に対する現状はどうでしょうか。以下のうちから選んで○をつけてください。

1. 希望どおり 2. おおむね希望どおり 3. 普通 4. やや難 5. 難

(質問 23)で 1 あるいは 2 と回答された方は以下にお答えください。

(質問 23-1) 希望進路はどのような傾向でしょうか。簡潔に御教えてください。

(質問 24) 修士課程の学生の進路について今後どのようになるとお考えでしょうか。また、
どのようになってほしいとお考えですか。ご意見を御教えてください。

VI-II. 博士課程について（博士課程がない機関についてはこの部分の回答の必要はありません）

（質問 25） 博士課程学生の育成の主な方針はどのようなものでしょうか。

区分：①数学研究者としての能力の育成、②専門知識を他分野に活用する能力の育成、③企業等、社会で活躍する応用能力の育成、

のうちで重点とお考えの順に並べてください。

1位 _____ 2位 _____ 3位 _____

（その他の育成方針： _____）

（質問 26） 博士課程学生の主な進路はどのようなものでしょうか。

区分：①数学・数理科学系教育研究職、②①以外の教育研究職、③企業、④中高教員、⑤公務員

のうちで進路の多い学生数の順に並べてください。

1位 _____ 2位 _____ 3位 _____ 4位 _____ 5位 _____

（その他の進路： _____）

（質問 27） 博士課程学生の企業への就職ではどのような業種でしょうか。

区分：①製造業、②保険・金融、③情報産業、④サービス業

について、就職数の多い順にお書きください。

1位 _____ 2位 _____ 3位 _____ 4位 _____

（その他の業種： _____）

（質問 28） 博士課程の学生の進路について今後どのようになるとお考えでしょうか。また、どのようになって欲しいとお考えですか。ご意見を御教えてください。博士課程の学生のキャリアサポートについて組織的にできることがあればお書きください。

ご協力に深く感謝申し上げます。

